

久留米競輪場再整備計画（案）の概要

以下に示す案は、「久留米競輪場の再整備に関するサウンディング型市場調査」における個別対話に向けて、本市が仮に想定したものであり、久留米競輪場の再整備事業の実施条件等として決定されたものではありません。

1 再整備におけるこれまでの流れ・今後

(1) 「久留米競輪中期運営計画 平成29年度～平成38年度」（平成30年3月策定）

基本方針として次の2つの基本方針を定めている。

- ① 基本方針1 : 自転車を核とした市民に親しまれるエリアの形成
- ② 基本方針2 : 安定かつ継続的に収益を生み出す競輪事業の運営

(2) 「久留米競輪事業収益向上基本構想」（令和2年3月策定）

中期運営計画を踏まえつつ、競輪事業の収益を向上させる具体的な施策として次の5つの施策を掲げている。

短期（1年～3年後） 収益向上施策	施策1	ミッドナイト競輪本場開催
	施策2	施設規模のコンパクト化
中・長期（4年～10年後） 収益向上施策	施策3	キャッシュレス投票運用
	施策4	視聴環境整備・改善
	施策5	未経験者来場促進

(3) 「久留米競輪場再整備計画」（仮称）の策定（予定）

上記1及び2に、これまでの市内部での検討状況も加えて、既存の久留米競輪場を「誇りがもてる美しい都市 久留米」（久留米市新総合計画）の実現に資する新しい公共施設として再整備し、「自転車を核とした市民に親しまれるエリアの形成」及び「安定かつ継続的に収益を生み出す競輪事業の運営」を図る「久留米競輪場再整備計画」（仮称）を策定する予定である。

2 久留米競輪場再整備の内容（検討中）

- (1) 既存のバックスタンドのスペース及び周辺に選手宿舎機能も含む新たな公共施設を整備する。
(施設を集約化してコンパクト化を図る)
- (2) 新たな公共施設は、正源氏公園の環境との共生が図られ、競輪も開催できるスポーツ・レクリエーション施設として再整備する。
- (3) 施設を集約化によって生じた余剰地は、正源氏公園のにぎわい創出を図る多目的交流ゾーンとして活用する。
- (4) 再整備後の施設の管理運営については、競輪の開催への対応等も含めて新たな公共施設及び駐車場等の周辺施設の管理及び運営を包括的に実施する。